

人間総合学群 人間文化学類 英語コミュニケーション専攻							
氏名	井戸桂子	職名	教授	専攻分野	比較文化	学位名	文学修士
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p>(著書)</p> <p>『碧い眼に映った日光』下野新聞社、2015年2月（単著）</p> <p>『異文化を生きた人々』中央公論出版社、1993年10月（共著）</p> <p>『テキストの発見』中央公論出版社、1994年10月（共著）</p> <p>(研究論文)</p> <p>“<i>Les Expressions de la Perversité chez Baudelaire,</i>” <i>Etudes de Langue et Littérature Françaises</i>, No. 46, 1985 (Société Japonaise de Langue et Littérature Françaises)（単著）</p> <p>“<i>The Meiji Experiences of Henry Adams and John La Farge,</i>” <i>The Faculty Journal of Komazawa Women’s University</i>, No. 11, December 2004 (Komazawa Women’s University)（単著）</p>							
最近5年間の業績（2016年度～2020年度）							
<p>(研究論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の島々」ポール・クローデルの『縺子の靴』より ～高みに昇る垂直方向の詩句』、『比較文学研究』第101号、東大比較文学会（すずさわ書店）、2016年6月（単著） ・「明治期の外国人避暑地～箱根と日光～」、『日本文化研究』第12号、2017年1月、駒沢女子大学日本文化研究所（単著） ・「クローデル大使の旅と異文化理解」、『駒沢女子大学研究紀要』第24号、駒沢女子大学、2017年12月（単著） ・「日光におけるアーネスト・サトウと武田久吉」、『駒沢女子大学研究紀要』第25号、駒沢女子大学、2018年12月（単著） ・「タスクを取り入れた英語授業の設計」、『駒沢女子大学研究紀要』第25号、駒沢女子大学、2018年12月（共著） ・「ポール・クローデル生誕150年記念 大使と渋沢栄一、稲畑勝太郎」、『日本比較文学会東京支部研究報告』16号 2019年11月（単著） ・「明治期日光を描く」、『駒沢女子大学研究紀要』第26号、駒沢女子大学、2019年12月（単著） ・「パーソンズの水彩画「日光の小堂」」、『ジャポニスム研究』第39号、ジャポニスム学会、2020年3月、（単著） ・「サトウ英国公使、クローデルフランス大使と渋沢栄一 ～両大使の日記から～」、『青淵』856号、2020年7月（単著） ・「日光での異文化体験～ガイドブックを手に～」、『ジャポニスム研究』第40号、ジャポニスム学会、2021年3月、（単著） ・「ポール・クローデル 日本の旅人」、『ポール・クローデル 日本への眼差し』、水声社、2021年3月 							

(依頼原稿)

- ・「担任は佐伯彰一先生」、『比較文學研究』第 103 号、東大比較文學會 (すずさわ書店)、2017 年 9 月 (単著)
- ・「クローデルの歩いた道 日光・中禅寺湖」『詩人大使ポール・クローデルと日本』水声社、2018 年 5 月 (単著)
- ・「日本から世界へ ～日光の場合～」『ジャポニスム研究』39 号、ジャポニスム学会、2020 年 3 月、(単著)

(国際シンポジウム、招聘講演)

- ・「ポール・クローデル 日本の旅人」(単)
2018 年 11 月 3 日、 *Le Japon de Paul Claudel* (ポール・クローデルの日本) ポール・クローデル生誕 150 年記念シンポジウム、日仏会館
- ・「日本から世界へ ～日光の場合～」 (単)
2019 年 10 月 5 日、人の移動とジャポニスム、国際シンポジウム 2019、ジャポニスム学会、国立西洋美術館

(招聘講演)

- ・「碧い眼に映った日光」、2017 年 9 月、下野フォーラム、日光金谷ホテル (単)
- ・「日光の魅力」2018 年 3 月、DMO 日光シンポジウム基調講演 (単)
- ・「詩人大使クローデル」2019 年 10 月、大阪日仏協会 (単)
- ・「外国人の見た日光」、2020 年 10 月、浅草寺仏教文化講座 (単)